

集落

集落行事



奄美大島の人々は集落のことを「シマ」と呼び、とても大事にしています。奄美大島には大小約200の集落があり、それぞれ独自の文化を残しています。島の北部では豊年祭を「種おろし」と呼びますが、南部では「ムチモレ」など違う名称を使います。集落によって執り行われる行事が違ったり、同じ行事名でも開催時期や内容が異なったりします。都会と違い、集落行事を通じて人々はお互いに助け合う「結の精神」を育んでいます。

集落には1年を通じて数回の行事があります。入学式、運動会などの学校行事も集落行事のひとつになることがあります。児童数・生徒数が少ない学校の運動会では、幼児からお年寄りまでこぞって参加して場を盛り上げます。また、毎月、清掃の日を設定している集落も多いです。

とある集落の主な行事

1月	年始式、集落駅伝、年の祝い	7月	集落総会
2月		8月	送り盆の八月踊り
3月	卒業合同祝い、教職員送別会	9月	敬老のお祝い
4月	入学合同祝い、老人クラブ総会	10月	運動会、種おろし(豊年祭)
5月	バレーボール大会、婦人会総会	11月	グラウンドゴルフ大会
6月	浜おれ(海開き)	12月	常会単位の忘年会



集落組織

婦人会、青年団、壮年団、老人クラブなど、年齢と性別によって所属する組織があります。各組織の代表と自治会長に当たる区長または小組合長が集まる定例会で日々の集落運営を話し、必要に応じて年に数回集落民全員が集まる総会を開催するところが多いです。

島の都市部では組織活動も希薄ですが、都市部以外の集落組織は自治運営に関わる部分も多いので活動も盛んです。参加は強制ではありませんが、よほどの理由がない限り「入らない」とは言い辛いです。

集落運営費

定額集金の「集落費」と、お祭り等で集められる「寄付」に分かれます。



集落費

自治会費のことで、各集落で集金します。集めた集落費の使途は集落によって違います。金額はゼロ~2,000円前後/世帯/月、集金のタイミングも月ごとから年一括と集落によってバラバラです。住み始めてから集落費の金額の高さにびっくりする移住者が多いので、住まいを決める時に集落の区長または小組合長に集落行事や集落費について予め確認することをお勧めします。

寄付

主に豊年祭で集められます。集落運営費など使途は集落によって違います。金額は1世帯当たり3,000円~1万円ですが、集落費と違い、決まっているわけではありません。



とある集落の集落費内訳(月額)	金額
防犯費(集落内の街灯の電気代)	¥150
衛生費 (蚊の殺虫剤と作業費の積み立て)	¥200
アンテナ(集落の共同アンテナ)	¥300
常会積み立て (お祭りの時などの出費に対する積み立て)	¥500
区長費	¥300
合計	¥1,450

発行: 奄美群島広域事務組合
〒894-0023
鹿児島県奄美市名瀬永田町18番6号

TEL: 0997-52-6032
FAX: 0997-52-9618
URL: <http://www.amami.or.jp/>

<発行 2021年7月>

奄美大島移住ガイド

奄美大島 移住



沖縄本島よりちょっと小さい、鹿児島県の南の島です。

真夏が32℃、真冬が12℃と暖かい亜熱帯海洋性の気候で、雨が多く湿度が高い島です。サーフィンやダイビング、シュノーケリング、ウミガメやホエールウォッチングなど海での楽しみがあり、アマミノクロウサギなど多種多様な希少生物が生息し、日本で2番目に大きなマングローブの森など自然の魅力も満載です。

「シマロ(しまくち)」と呼ばれる独特な方言に代表されるように、琉球と薩摩藩の影響を受けながら独自の文化を形成してきました。島唄を唄い、八月踊りを踊る伝統行事は、今も集落の生活に当たり前のように息づいています。

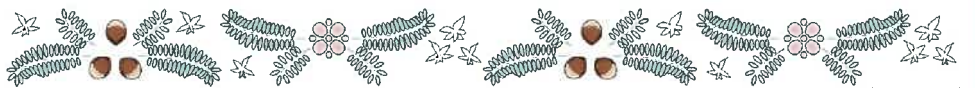
1500km
1000km
500km

奄美大島 喜界島
徳之島
沖永良部島
与論島

羽田、成田、伊丹、関空、福岡、鹿児島、那覇から飛行機
(羽田から2時間)

鹿児島、那覇からフェリー
(鹿児島から11時間)





奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町の5市町村、約200の集落があり、約6万人が住んでいます。

南北に国道58号が通り、その国道を迂回するように県道や市町村道が通っています。空港から島最大の街、奄美市名瀬まで31km、車で約50分。名瀬から島南部の瀬戸内町古仁屋(こにや)まで43km、約1時間に到着します。ただし、外周は460kmあり、1日で島を一周するのは難しいでしょう。

公共交通機関はバスとなります。

総合スーパー、食品スーパー、ホームセンター、コンビニ、ファーストフード、ファミレス、ドラッグストアなど、都市部の商業施設は充実しています。



詳しくは↑

(2021/4/1現在)

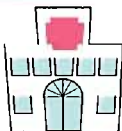
	人口	世帯数
奄美市	41,970人	23,472世帯
大和村	1,421人	863世帯
宇検村	1,665人	948世帯
瀬戸内町	8,682人	5,193世帯
龍郷町	5,944人	3,095世帯
合計	59,682人	33,571世帯

HEALTHCARE

詳しくは↓



医療施設も鹿児島県立大島病院、徳洲会病院など、大きな総合病院を始め、診療所を含めて50以上の施設があります。



COMMUNICATION

詳しくは↓



携帯電話は概ね全島をカバーし、インターネットは光回線が標準となっています。下水道は奄美市名瀬、奄美市笠利の一部、瀬戸内町の一部、宇検村の一部、大和村で完備、その他の地域は、農業集落排水か浄化槽となります。



移住に関する行政窓口



大和村 企画観光課
〒984-0108
鹿児島県大島郡大和村大和2400番地
TEL:0997-52-2117(直通)
FAX:0997-52-2161
HP:https://www.city.oyaiji.jp/



奄美市 フロント外務課
〒984-0245
鹿児島県奄美市名瀬幸町29番6号
TEL:0997-52-1111(4外線)
FAX:0997-52-1001
HP:https://www.city.amami.jp/



宇検村 企画観光課
〒984-0202
鹿児島県大島郡宇検村高島015
TEL:0997-67-7718
FAX:0997-67-7722
HP:https://www.utsunomiya.jp/



瀬戸内町 企画課
〒984-1127
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋29番地
TEL:0997-72-1122
FAX:0997-72-1120
HP:https://www.setouchi-cho.jp/

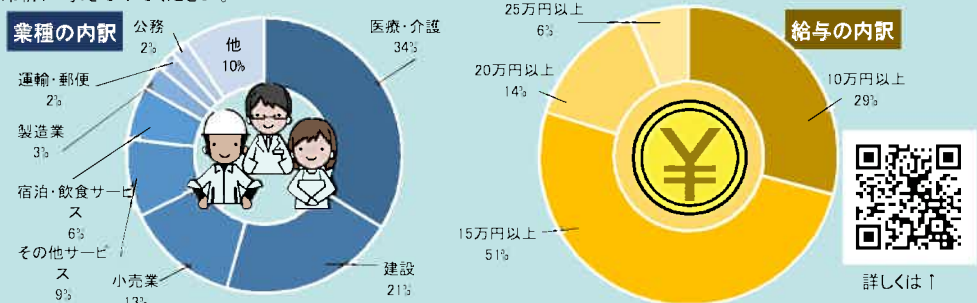


龍郷町 企画観光課
〒984-0102
鹿児島県大島郡龍郷町南110
TEL:0997-60-4512(直通)
FAX:0997-67-7505
HP:https://www.town.ryugasaki.jp/

仕事に関する留意点

ハローワークか地元新聞に掲載される求人情報がほぼ全ての求人になります。ハローワークは月2回求人情報を発行しています。求人は医療・福祉、建設関係の仕事が中心で、賃金も都会に比べるとかなり低いのも事実です。地元の人は地縁・血縁者から良い仕事が紹介されたりしますが、移住者には良い仕事の情報が回ってくることは少ないと思ったほうが良いでしょう。そして、ハローワークの求人は奄美市名瀬に集中しているので、移住希望地に仕事があるとは限りません。

当面の生活資金を持たずに「何とかなるさ」と考えて移住してきて、何とかならず本土に戻る人もいます。サラリーマンから移住後に自分でスモールビジネスを始める人も多いです。これまで島にはなかった料理店など、新しいサービスを始めて成功している事例もたくさんあります。行政の起業・就労支援もあるので、自営の道も視野に入れるのも一つでしょう。「移住しなければよかった」とならないように、厳しい雇用状況を踏まえ、「それでも移住したいか」を一度は冷静に考えてみてください。



ハローワークの求人情報(2020/4~2021/3)を株わりやかなやが独自集計しています。複数掲載された求人は重複集計しています。月額賃金の最低保証金額で、基本給+歩合給の場合は基本給で集計しています。歩合給のみの求人は集計から除外しています。



教育機関や行政の子育て支援は



移住体験プログラムは



住まいの現状

老朽化した空き家は多いですが、流通物件は極めて少ないです。転勤者も多く、家賃相場は高めなのが特徴です。島の都市部は不動産会社が仲介しますが、都市部以外は知り合い同士の家主と借主の相対取引が主体です。空き家だからと言って貸してくれるわけではなく、地元の人の紹介が必要だったりします。希望通りの物件に巡り合うためには時間がかかることは覚悟した方が良いでしょう。

- 奄美大島の不動産事情
- 築古物件が主流
 - 都市部以外は相対取引が主流
 - 島内保証人を求める賃貸物件が多い
 - 設備が老朽化しているか、壊れている物件もある

詳しくは↓



住まいに関する行政支援情報は



不動産物件情報は



定住促進住宅や移住体験住宅、リフォーム助成など、住宅や移住に関する行政支援施策が掲載されています。